

6 / 19 (月) の行事



報道発表資料の配付日時 6月12日(月)15:00

発表項目 (行事名)	令和5年度(2023年度)「高大連携による『Hokkaido Study Abroad Program』について																				
記者レクのお知らせ	発表者																				
	発表場所																				
概要	<p>○ 北海道教育委員会では、平成30年度から、高大連携による「Hokkaido Study Abroad Program」事業を実施しています。</p> <p>○ 本事業は、高校生の異文化理解や留学・海外大学への進学意欲の高揚を図るとともに、留学生の北海道に対する理解の増進を図り、母国と北海道における友好の架け橋になることを期待して取り組んでいるものです。</p> <p>○ 具体的には、北海道大学及び北海学園大学と連携して、①北海道大学の留学生を道立高校等で受け入れ、留学生による母国紹介や英語授業の支援、高校生との意見交換などの交流活動を実施、②道立高校等の生徒を両大学が受け入れ、大学内で講義や大学における研究紹介、留学生との英語による交流などを行う事業を実施しています。</p> <p>○ このうち、②の道立高校等の生徒が北海学園大学で英語による交流などを行う事業について、次のとおり実施するので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 主催 北海道教育委員会、北海学園大学 2 参加者 道立高校等の生徒23校から30名 3 日程等 令和5年(2023年)6月19日(月) 9:00～16:00</p> <p>※詳細は別添のとおり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">日 時</th> <th style="width: 60%;">内 容</th> <th style="width: 25%;">場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/19 (月) 9:00</td> <td>開会式・オリエンテーション</td> <td rowspan="7" style="text-align: center; vertical-align: middle;">北海学園大学 豊平キャンパス 国際会議場</td> </tr> <tr> <td>9:20</td> <td>ワークショップ1</td> </tr> <tr> <td>10:50</td> <td>ワークショップ2</td> </tr> <tr> <td>13:00</td> <td>ワークショップ3</td> </tr> <tr> <td>14:30</td> <td>ミニ講義1</td> </tr> <tr> <td>15:20</td> <td>ミニ講義2</td> </tr> <tr> <td>16:00</td> <td>閉会式</td> </tr> </tbody> </table> <p>○プログラム内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生による留学経験や海外渡航のプレゼンテーション ・大学教授によるミニ講義 ・カナダ・レスブリッジ大学の留学生との交流 等 			日 時	内 容	場 所	6/19 (月) 9:00	開会式・オリエンテーション	北海学園大学 豊平キャンパス 国際会議場	9:20	ワークショップ1	10:50	ワークショップ2	13:00	ワークショップ3	14:30	ミニ講義1	15:20	ミニ講義2	16:00	閉会式
日 時	内 容	場 所																			
6/19 (月) 9:00	開会式・オリエンテーション	北海学園大学 豊平キャンパス 国際会議場																			
9:20	ワークショップ1																				
10:50	ワークショップ2																				
13:00	ワークショップ3																				
14:30	ミニ講義1																				
15:20	ミニ講義2																				
16:00	閉会式																				
参 考	<p>・北海道大学への道立高校生派遣事業は、10/11(水)～10/13(金)の3日間日程で北海道大学(学術交流会館)にて実施予定</p> <p>・上記①の北大留学生を道立高校等で受け入れる事業は9月に実施予定</p>																				
報道(取材)に当たってのお願い	<p>・取材いただける場合は、北海学園大学に報告し、事前に登録する必要がありますので、6月14日(水)までに下記担当あて連絡いただきたくお願いします。</p>																				
担 当 (連絡先)	教育庁学校教育局高校教育課国際交流係 課長補佐 石黒 千栄子 TEL ダイヤルイン 011-206-6078 内線35-731 公用スマートフォン 011-585-6102 内線25-001																				

令和5年度(2023年度)「高大連携による『Hokkaido Study Abroad Program』」
道立高校等の生徒の道内大学への派遣・交流事業 日程

【北海学園大学】6月19日(月)

時間	内容	場所	備考
8:40-9:00	受付	国際会議場	受付場所：国際会議場入り口前 ・受付で保険料の支払いをお願いします。
9:00-9:10	開会式・事務連絡		
9:20-10:40	【ワークショップ1】「大学生と考える留学・海外渡航」 (英語+日本語) (北海学園大学学生3名)		・留学、海外渡航経験のある大学生がその経験を語ります。その後、全体、グループに分かれて質疑を行います。高校を卒業してすぐに海外の大学に進むべきなのか、日本の大学にいながらどのような留学、渡航経験ができるのかを一緒に考えてみましょう。
10:50-12:00	【ワークショップ2】「コミュニケーション能力を高める英語自律学習の工夫ー口語定型表現ー」 (英語+日本語) (人文学部 田中洋也教授)		・英語のコミュニケーションの際に強い味方となるのが「定型表現」です。定型表現とは何か？日頃、どのように学習できるのかについて体験的に学ぶワークショップです。
12:00-13:00	昼食	AV2教室 AV6教室 ロビー 学食など	・昼食は各自で用意してください。 ・マナーを守り、食事場所などはきれいに使いましょう。
13:00-14:20	【ワークショップ3】「カナダ・レスブリッジ大学学生との文化交流ーアルバータ州と北海道を語るー」 (英語) (カナダ人留学生9名)	国際会議場	・カナダの大学生にみなさんの住む街や北海道の良さを紹介してみましょう。また、北海道と姉妹提携を結んでいるアルバータ州の魅力を知りましょう。グループで活動します。 ・4ページの事前課題を見て、Hidden Gemを考えておきましょう。 ・写真や画像も忘れず準備してください。
14:30-15:10	【ミニ講義1】“What is Intercultural Communicative Competence?” 「異文化コミュニケーション能力とは何か？」 (英語) (英米文化学科 プシャー ジェレミ教授)		・英語を学ぶということは、単に異なる言語体系を習得し、それを日常のコミュニケーションで活用することだけではありません。それは文化の違いについて学び、それに対処することでもあります。この講義では、異文化コミュニケーション能力の研究における重要な概念と、それがみなさんの留学準備にどのように役立つかを探ってみましょう。
15:20-16:00	【ミニ講義2】「渡航のすゝめー外国で暮らし、学ぶことの醍醐味と意味」 (日本語) (地域経済学科 牛久 晴香准教授)		・留学やフィールドワークでは、観光旅行よりも現地の人と深く関わることになります。悲しい出来事や諍いも起こりますが、そのような経験こそが「異文化」を知る第一歩になります。講義では私の経験を紹介しながら、外国で暮らし学ぶことの醍醐味や意味についてお話しします。
16:00-16:10	閉会式・解散		・アンケートへのご協力をお願いします。

※プログラムは、英語及び日本語で行います。

高大連携による「Hokkaido Study Abroad Program」

グローバル化への対応に向けた課題

- 新型コロナ収束後の人的往来の再開やビデオ会議システム等の普及に伴うオンラインによるコミュニケーションの機会の増加に向けて、高い語学力等を有するグローバル人材や本道の国際交流を牽引する若きグローバル・リーダーの育成が重要

海外留学等の現状（道内公立高校）

- 海外留学経験者数（短期＋長期）は576名、全体の0.64%
[全国1.00%] (H29)
- 海外修学旅行を実施した学校は8校、参加者数は1,087名
[全国179,910名] (H29)
- 留学者が少ない主な要因は、言葉の壁、経済的な負担など

大学と連携・協力し、道内における擬似留学の機会を提供

- 道立高校等と道内大学とのマッチングを行い、高校生と留学生による相互の擬似留学を実施

【高校生の活動】

- ◆ 留学生との交流
(例: 留学生とのキャンパスツアー)
- ◆ 英語力向上のためのワークショップ
- ◆ 大学の特別講義等への参加
- ◆ 留学生の研究室への訪問など

高校生派遣

Hokkaido
Study abroad
Program

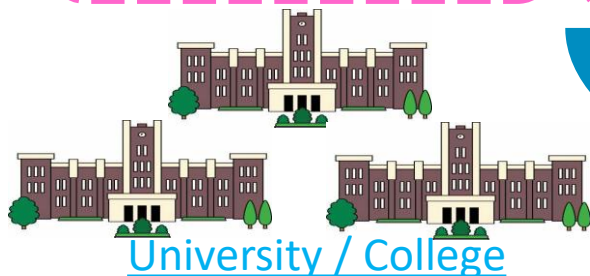
留学生派遣

High School



【留学生の活動】

- ◆ 外国語科目等での授業サポート
- ◆ 高校生との交流、部活動への参加
- ◆ 母国紹介など



University / College

渡航せずとも気軽に参加できる国際交流機会の提供 ⇒ 将来のグローバル人材の更なる育成・拡大

Hokkaido Study Abroad Program

2022

1 道立高等学校の生徒の大学への派遣事業

【期 間】令和4年（2022年）10月12日～14日

【会 場】北海道大学構内

【参加人数】24名（応募者数59名）

【応募校】18校（滝川、札幌北、札幌月寒、札幌啓成、札幌厚別、千歳、小樽潮陵、室蘭栄、登別明日、浦河、函館西、七飯、士別翔雲、北見柏陽、網走南ヶ丘、遠軽、帯広柏葉、足寄）

【内 容】キャンパスツアー、留学経験者による体験談、大学の講義体験、ワークショップ、留学生との交流など

【参加した高校生の声】

- ・自分の将来への視野がとても広がり、また、英語を学習する上でとても大切なことを学ぶことができました。
- ・日常からは考えられないほど英語を話す機会がありました。特にプレゼンテーション活動が本当に楽しかったです。
- ・留学生が研究していることについて、たくさん話してくれてとても勉強になりました。
- ・最初は失敗することを恐れていましたが、必死に伝えようとする気持ちが一番大切なんだと学びました。



2 留学生の道立高等学校への派遣事業

【期 間】令和4年（2022年）9月5日～30日（最大3日間）

【実施方法】対面又はオンライン

【参加人数】北海道大学留学生延べ31名

【受入高校】23校（滝川、札幌北、札幌東、札幌国際情報、札幌英藍、札幌丘珠、千歳、苫小牧南、登別明日、浦河、上ノ国、旭川永嶺、士別翔雲、羽幌、稚内、常呂、遠軽、津別、雄武、池田、鹿追、釧路明輝、釧路江南）

【参加した留学生の声】

- ・プログラムに参加したことで、日本の高校生の考えおよび生き方についてとても勉強になりました。
- ・英語と日本語でコミュニケーションをとって楽しい時間を過ごすことができました。生徒達と出会えたことをとても嬉しく思います。
- ・プレゼンする際の学生達の態度がとても良く、また、生徒に歓迎してもらえて嬉しかったです。

【受け入れた高校の声】

- ・外国語を用いたコミュニケーションや、大学で行われている研究に興味を示す生徒が多数見られ、このプログラムの効果を実感しました。

高大連携による「Hokkaido Study Abroad Program」実施要綱

(令和3年4月22日高校配置担当局長決定)

(令和5年4月25日一部改正)

1 趣旨

国際交流に興味・関心を持つとともに、大学等に進学し学術研究に意欲的に取り組もうとする北海道教育委員会の所管する高等学校及び中等教育学校（以下「道立高校等」という。）の生徒に対し、道内大学の留学生との相互交流や、道内大学での講義等の受講の機会を創出することにより、国際理解の促進と進学意欲の向上を図り、もって、将来における本道のグローバル人材の育成に資する。

2 実施主体

北海道教育委員会が、道内大学と連携して実施する。

3 事業内容

(1) 留学生の道立高校等への派遣・交流事業

ア 目的

道内大学の留学生を道立高校等に派遣し、授業のピアサポートや部活動への参加、母国の紹介などを通して、生徒の英語力の向上や国際理解の増進に貢献するとともに、道立高校等の教育活動に対する留学生の理解を深め、もって母国と北海道との一層の交流促進に努める。

イ 実施期間

移動も含め3日間以内とし、北海道教育委員会と道内大学とが協議の上、決定する。

ウ 実施場所

原則として、道立高校等において行う。

留学生の派遣を受ける道立高校等（以下「実施校」という。）は、毎年度、予算の範囲内で北海道教育委員会が定めるものとする。

エ プログラムの内容

次の事項を含むものとし、具体的内容については、実施校が企画し、北海道教育委員会及び道内大学との協議を経て、決定する。

- (ア) 英語を中心とする授業における学習サポート（質問対応、ティームティーチング等）
- (イ) 授業への参加（和食の調理（家庭科）や柔道・剣道（保健体育）など、日本文化への理解を深める授業）
- (ウ) ホームルーム活動における母国や研究内容の紹介等
- (エ) 部活動への参加
- (オ) 道立高校等の生徒による英語での地域案内など地域理解を深める活動
- (カ) その他、留学生との交流を深め、国際理解の推進に資する取組

オ 参加対象

道内大学に在籍する留学生とする。

募集人数は、毎年度、予算の範囲内で北海道教育委員会が定めるものとし、応募多数の場合は、北海道教育委員会と道内大学とにおいて選考又は抽選を行い、参加者を決定する。

カ 参加費用等

- (ア) 北海道教育委員会は、留学生に対し、北海道職員等の旅費に関する条例（昭和28年1月10日北海道条例第38号）の規定に基づき旅費を支給するとともに、予算の範囲内で参加奨励費を支給する。

(イ) 北海道教育委員会は、留学生の派遣に係る災害傷害保険料を負担する。補償の範囲は、北海道教育委員会と道内大学が協議の上、決定する。

キ 事前研修会

北海道教育委員会は、道内大学から道立高校等へ派遣される留学生を対象に、必要な知識の修得など、学校における交流活動を円滑に実施することを目的として、対面又はオンラインで事前研修会を行うものとする。

(2) 道立高校等の生徒の道内大学への派遣・交流事業

ア 目的

道立高校等の生徒を留学生の在籍する道内大学に派遣し、留学生との英語による交流や、大学の講義の受講、研究室訪問等を通して、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上及び派遣先大学についての理解の深化を図るとともに、国際的な視野を育み、海外と積極的に交流しようとする意欲の向上を図る。

イ 実施期間

連続する3日間以内とし、北海道教育委員会と道内大学とが協議の上、決定する。

ウ 実施場所

原則として、道内大学構内及び大学近隣の教育関係施設等において行う。

エ プログラムの内容

次の事項を含むものとし、具体的内容については、北海道教育委員会と道内大学とが協議の上、決定する。

(ア) 留学生との交流（母国や研究内容の紹介、グループワーク等）

(イ) 留学生が受講している授業への参加又は見学

(ウ) 大学の紹介（研究実績、国際交流の状況、キャンパスツアー等）

(エ) その他、留学生との交流を深め、大学進学意欲等の向上に資する取組

オ 参加対象

道立高等学校の第1学年又は第2学年（道立中等教育学校にあつては第4学年又は第5学年）に在学中の生徒とする。ただし、実施日が年度初期となる場合その他特別の事情がある場合は、別に定めるところにより、道立高等学校の第3学年（道立中等教育学校にあつては第6学年）に在学中の生徒も対象とすることができる。

募集人数は、毎年度、予算の範囲内で北海道教育委員会が定めるものとし、応募多数の場合は、選考又は抽選により参加者を決定する。

カ 参加費用

北海道教育委員会は、生徒の保護者に対し、予算の範囲内で参加奨励費を支給する。

キ 講師等への謝金等

プログラムの実施に関し、実施大学の教員や学生等、講師や運営協力者に対して、予算の範囲内で謝礼を支給する。

4 その他

この要綱で定めるもののほか、本事業の推進に必要な事項については、北海道教育委員会と道内大学とが協議の上、高校教育課長が別に定める。

附 則

この要綱は、決定の日（令和3年4月22日）から施行する。

附 則

この要綱の一部改正は、決定の日（令和5年4月25日）から施行する。

豊平キャンパス



Hokkaido Study Abroad Program

1 DAY

参加者
大募集

留学ワークショップ

申込み締め切り： 月 日まで

6.19 (月)

9:00~16:00 (受付 8:40)

会場：北海学園大学

Schedule

大学教授によるミニ講義

- ・英語学習方法
- ・異文化コミュニケーション能力って何？
- ・外国で暮らし、学ぶことの醍醐味と意味

留学・海外渡航を経験した大学生との交流

カナダ・レスブリッジ大学学生たちとの交流

英語好きの高校生との出会い

- 参加要件（英語力）があります。
CEFR A2 レベル（英検準2級程度）
- 募集定員があるため、応募者多数の場合、抽選等により参加者を決定します。
- 国内旅行傷害保険へ加入してください。
- 参加を希望する人は、「申込みにおける留意事項」をよく読んだ上で、担任又は担当の先生から「参加申込書」を受け取り、必要事項をすべて記入して期日までに提出してください。

昼食は各自持参となります。

英語力の向上が期待できます

留学生との交流で国際交流ができます

グローバルな視野を身に付けられます

大学生からリアルな留学体験が聞けます

Hokkai Gakuen University & Hokkaido Board of Education 北海学園大学・北海道教育委員会